

わたしと看護 Vol.13

泌尿器・後腹膜腫瘍科、整形外科、消化器・肝胆膵内科病棟 9年目



その人らしさをどう支えるか

私の所属している7階東病棟は、手術、がん薬物療法、放射線療法を受ける患者さんに対し、安心して効果的な治療や処置を受けていただけるように努めています。

手術や治療の後、排泄機能障害をきたす患者さんや、IADL(日常生活を送るうえで必要な動作)が低下している患者さんなどへ、安心して生活を続けていけることを目指し、医師、理学療法士、外来看護師、栄養士などと連携しながら支援を行っています。

がん患者さんは何度の苦しい意思決定を迫られる事があり、それを支援していく必要があります。その中で、「患者さんやご家族の希望に沿った治療やケアができているのか」「その人らしい最期とは何か」といった倫理的課題に直面することがあります。そんな時は、医師・MSW・理学療法士等と連携して倫理カンファレンスを開催し、様々な専門職の意見を聞いて、患者さんにとって最善の選択は何かを考えています。7東病棟の素晴らしいスタッフと共に看護できていることに喜びを感じながら、これからも自分自身成長できるように努力を続けていきたいと思えます。



独立行政法人国立病院機構

九州がんセンター

National Hospital Organization Kyushu Cancer Center

看護部